

July
2015

The Record

vol.668

平成 26 年度事業報告

Music Jacket Gallery 2015 開催



RIAJ
Recording Industry Association of Japan

Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
平成 26 年度事業報告.....	3
特報	
Music Jacket Gallery 2015 開催.....	7
イギリス・ブライトンでショーケースライブ 「JAPAN RISING」開催.....	9
インドネシア・ジャカルタで 「J-Series Festival」開催.....	10
ACA・第 4 回「著作権を守ろう!ポスター コンクール」作品募集を開始.....	10
「知的財産推進計画 2015」の策定に関する 意見書を提出.....	11
ヒットの裏側.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

5/19

IFPI・CODA「トレーニング セミナー」北京市で開催

5月19日、IFPI（国際レコード産業連盟）と一般社団法人コンテンツ海外国際流通促進機構（CODA）が共催する2015年度第1回トレーニングセミナー「著作権集中管理研究会」が中国・北京市の北京国際著作権交易センターで開催された。

当協会からは楠本靖 著作権・契約部部長が講師として参加し、「違法音楽配信対策と集中管理事業」というテーマで講義を行った。講義では日本の音楽市場の概要、違法な音楽配信の実態や違法対策、当協会が行う集中管理事業（放送二次使用料・貸レコード使用料・私的録音補償金の徴収・分配、教育・文化系行事やブライダル催事に係る集中管理）等について説明した。続いて、渡部清隆 CODA 事務局担当部長が「CODAの著作権侵害対応」について、中国側からは洪偉典 IFPI アジア総裁および林秀芹 廈門大学知的財産権研究院院長がそれぞれ講義を実施。また今回のセミナーに協力した中国音像著作権集体管理協会（CAVCA）の馬継超 副総幹事による講義が行われた。

当日は新聞出版広電総局、北京市高級人民法院をはじめ各地の著作権局、裁判所、弁護士事務所等から63名が出



席し、音楽の集中管理や侵害対策に関する講義に耳を傾けた。

IFPIとCODAは共同で、中国（台湾を含む）・香港をはじめとするアジア地区の行政、裁判所、検察、公安、警察、税関等の職員を対象に、著作権啓発を目的としたトレーニングセミナーを実施している。

6/4

ASEAN放送・通信事業者来会

6月4日、ASEAN地域における放送コンテンツの正規流通促進WSの一環として、インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの通信所管省庁および放送所管省庁の職員ら20名が来会した。

このWSは、ASEAN加盟各国および日本におけるインターネット上での放送コンテンツの違法流通対策の共有等を目的として、6月1日から4日までの日程で開催されたもの。当日は、著作権・契約部の越坂部チーフより、当協会の集中管理事業（放送二次使用料・貸レコード使用料の徴収・分配等）や違法音楽配信に対する取り組みについて説明が行われた。

参加者からは、集中管理事業における放送事業者との契約交渉の他、違法な音楽配信に対する取り組みについても多くの質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われた。

集中管理事業やユーザーへの啓発活動を含む違法配信対策は、ASEAN地域においても重要な課題となっている。今後も連携を強化することで、同地域の集中管理事業の整備、インターネット上の著作権侵害対策の進展に期待したい。



このエールマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

6/5

「STOP! 違法ダウンロード 広報委員会」実行委員会開催

6月5日、当協会会議室において「STOP! 違法ダウンロード広報委員会」実行委員会が開催された。同委員会は「私的違法ダウンロードの罰則化」に関する周知・啓発活動のため、2012年9月、当協会はじめ音楽関連7団体により設立されたものである。当日は、平成26年度の事業・収支報告および監査結果が承認され、活動結果報告がなされた。

●●●会員社のお知らせ●●●

■ 会員資格変更 (7月1日付)

社名：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ (賛助会員から正会員に変更)

代表：代表取締役 執行役員社長 村松 俊亮
住所：〒102-8353 東京都千代田区六番町4-5
電話：03-3515-5558 (代表)

社名：株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント (正会員から賛助会員に変更)

代表：代表取締役 CEO 水野 道訓
住所：〒102-8353 東京都千代田区六番町4-5
電話：03-3515-5050 (代表)

●●●当協会役員人事●●●

■ 新任

(6月15日付)
[理事] 花房 秀治
株式会社バップ 代表取締役 社長執行役員

(6月25日付)
[理事] 吉村 隆
株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長

(7月1日付)
[監事] 荻野 伸之
株式会社ヤマハミュージックコミュニケー
ションズ 代表取締役社長

(7月10日付)
[理事] 村松 俊亮
株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ
代表取締役 執行役員社長

■ 退任

(6月3日付)
[理事] 柏木 登
株式会社バップ 代表取締役 社長執行役員

(6月15日付)
[理事] 桐畑 敏春
株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長

(6月19日付)
[監事] 吉田 耕一
株式会社ヤマハミュージックコミュニケー
ションズ 代表取締役社長

(6月24日付)
[理事] 北川 直樹
株式会社ソニー・ミュージックエンタテイン
メント 代表取締役 副会長

RIAJ2015年6月度理事会・総会議案

定時総会議案

■ 審議事項

1. 平成26年度事業報告書(案)の件
2. 平成26年度決算報告書(案)の件

第484回理事会議案

■ 審議事項

1. 会員資格変更について
 - ソニー・ミュージックレーベルズ (賛助会員→正会員)
 - ソニー・ミュージックエンタテインメント (正会員→賛助会員)
2. 法制委員会委員長人事について
3. 顧問委嘱について

■ 報告事項

1. 法制委員会関係報告
 - (1) 著作権分科会(6/2)報告
 - (2) 「知的財産推進計画2015」について
 - (3) JASRAC インタラクティブ配信使用料規定の変更届出について
 - (4) コミュニティ放送局との訴訟経過報告
2. マーケティング委員会関係報告
 - (1) 「Music Jacket Promotion Committee 2015」総括報告
 - (2) グローバルリリースデイについて
3. 海外マーケティング委員会関係報告
 - (1) PROMIC 主催 / Japan Rising in The Great Escape 報告
 - (2) 国際ドラマフェスティバル「J-Series in Jakarta」関係報告

「New Music Fridays」IFPIが7/10からの実施を発表

国際レコード産業連盟(IFPI)は、新譜のリリース日を世界的に金曜日に統一する取り組みについて関係者と協議を続けてきたが、去る6月11日(イギリス時間)、この取り組みを「New Music Fridays」のキャンペーン名称の下で2015年7月10日より実施することを発表した。

これまで各国が各々の事情に従い新譜を発売する曜日を決めており、フランスやイギリスは月曜日、アメリカやカナダは火曜日、オーストラリアやドイツは金曜日などと異なっていた。7月10日以降は、全世界で発売される新譜タイトルのパッケージ商品およびデジタル配信は、45以上の国において毎週金曜日の現地時間0時01分に発売開始となる。これにより、世界中の音楽ファンが同じ日に新譜を手にすることが可能になるという。

なお、日本では原則水曜日に新譜が発売されているが、全世界で同時発売される洋楽の新譜は各レコード会社の考えに基づき順次金曜日発売となる予定である。邦楽を含むその他の新譜は従来通り水曜日から変更ない。

その他詳細は以下の特設サイトを参照されたい。

New Music Fridays 特設サイト(English) URL: <http://newmusicfridays.com/>



平成26年度事業報告

平成26年の市況を振り返ると、音楽パッケージソフト（オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計）の年間生産金額が前年比94%の2,542億円に減少したが、有料音楽配信の売上金額はPC・スマートフォン向けシングルトラックの年間売上金額が前年比118%、アルバムの年間売上金額が同121%、サブスクリプションサービスが同288%と大きく成長し、配信市場全体では前年比105%の437億円と2009年以来5年ぶりにプラスに転じた。この結果、音楽ソフト（オーディオ+音楽ビデオ）の生産金額と有料音楽配信売上の合計は前年比95%の2,979億円となった。

このような業界環境を踏まえ、当協会では今年度より協会が担う役割を4つ（①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業への理解・著作権思想を「広める」および④業界の情報基盤整備により足元を「固める」）に整理し、優先度を付けて事業に取り組んでおり、「レコード製作者の権利収入の拡大」「日本音楽の海外展開の促進」および「違法音楽配信の撲滅」を中心に以下の事業を推進した。

事業活動

[1] レコードの普及に関すること

1. 音楽CD再販制度の維持

- (1) 会員各社の再販弾力運用の取り組みを報告書に取りまとめ、3月に公正取引委員会へ提出し、当協会ホームページで公表した。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを、1月7日から1月21日の間実施した。

2. レコードの需要拡大施策の展開

(1) ミュージック・ジャケット大賞の実施

5月29日～6月3日に「ジャパン・メイドな音楽パッケージの魅力！」をテーマに「ミュージック・ジャケット・ギャラリー」を新宿高島屋にて開催し、同会場での「ミュージック・ジャケット大賞」の投票数は前回の4倍強となった（総投票者数29,671名）。受賞作品（大賞：miwa「Delight」）は8月6日に発表し、TV、新聞、ウェブニュース等でパブリシティを獲得した。なお、次年度については開催時期を繰り上げることとし、3月よりパンフレットの配布および一般投票を開始した。

(2) CDショップ大賞への協賛

「第7回CDショップ大賞」（主催：全日本CDショップ店員組合）に協賛するとともに、店頭展開・広報展開の支援を行った。今回は、過去最高となるCDショップ店員1,078名の投票により受賞作品（大賞：BABYMETAL／ベストアーティスト賞：ゲスの極み乙女。）が選出され、3月9日にFuture Sevenで行われた授賞式の模様は主要なテレビ・ラジオ番組や新聞、ウェブニュース等で取り上げられた。また、主要販売チェーン店でコーナー展開を実施し、売り上げに貢献した。

(3) 商品カタログ制作

「音楽Blu-ray Discカタログ」を製作し（約1,300タイトル掲載、10万部）、年末商戦期に合わせ12月5日よりCDショップ等にて配布した。

3. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

第29回となる「日本ゴールドディスク大賞」各賞は3月2日にプレスリリースで発表した。TV15番組のほか、新聞各紙、Webサイトで多く取り上げられた。

4. 「Coming Next 2015」の実施

新たに新人育成等を目的とした「Coming Next 2015」（正会員17社各社1組ずつ選りすぐりのアーティストが出演するイベント）を2月15日にNHKホールで開催した。約3,000名が来場し、当日の様子はUSTREAMでも配信された。またPR施策として、ナタリー、レコチョク、タワーレコード、第一興商と連携し、TVがNHK含む3局3番組、新聞が1紙、WEBが54媒体で取り上げられた。

5. 日本音楽の海外展開の促進

- (1) 音楽産業・文化振興財団（PROMIC）主催「第11回東京国際ミュージックマーケット（TIMM）」（10月21日～23日開催）への出展・協力を行い、会員社と海外バイヤーとの関係構築およびライセンス交渉等のサポートによるビジネス支援を行った。昨年同様にTIFFCOM、TIAFとの合同マーケットとしての開催で、3日間の延べ来場者数は18,336名と盛況に行われた。

- (2) 日本音楽の情報発信のためのプロモーション事業「J-Music LAB」を、今年度はインドネシア・ジャカルタで2回（8月：インドネシア大学主催日本祭り／11月現地人気イベント「Hai Day」）実施した。現地メディアの取材や関係者レセプションを行い、現地に

おける日本音楽普及の基盤作りに努めた。

- (3) 英音楽見本市「グレイトエスケープ」でPROMICが主催した「Japan Rising」およびシンガポールでの「GENKI! J-Pop night」に協力した。

6. 大学寄附講座の開設

若年層のレコード産業・著作権制度への理解を深めることを目的とした大学寄附講座「クリエイティブビジネスと著作権」（全15コマ）を、今年度から明治学院大学で開講し、415名が履修した。

7. RIAJセミナーの開催

会員社を対象に7回（①「新入社員合同研修会」、②「労働法セミナー」、③「CPPCの違法対策」、④「欧州におけるレコード演奏権に関する法制度、徴収実務の運用状況等について」、⑤「平成26年著作権法改正と現在の著作権法を巡る諸問題」、⑥「2014年度音楽メディアユーザー実態調査報告会」、⑦「若者の消費行動について～“今”求められる、ヒットを生み出すマーケティング戦略～」）を開催した。

8. その他

“Music J-CIS”（Music Japan-Copyright Information Service）の構成団体として活動を行った。音楽権利情報データベースを充実させるため、平成26年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、平成26年度末時点での収録楽曲総件数は約467万件まで拡大した（前期末約443万件）。

[2] レコード等に関する調査研究およびデータの収集

1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績ならびに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公開した。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

「2014年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、ユーザーの音楽利用実態の推移や音楽消費の変化に関する定点観測のほか、エスノグラフィ調査により若年層の音楽に対する意識の深掘り調査も行き、会員社向けに調査結果報告会を開催した。

[3] レコードを通じた音楽文化の保存に関すること

1. アナログレコードのアーカイブ化に関する研究

国立国会図書館所蔵のアナログレコードのリストに基づき、EP/LPそれぞれの邦洋比率の調査を行い、デジタルアーカイブのために必要とされる費用概算を行った。併せて、当協会・JASRAC・芸団協など15団体で構成する「文化芸術推進フォーラム」の今年度の提言へ本テーマを盛り込んだ。

2. 「文化庁芸術祭」への協力

「第69回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として60作品を参加申請し、参加が承認された35作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

3. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「第21回日本プロ音楽録音賞」を、当協会と日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、日本オーディオ協会および演奏家権利処理合同機構MPNにより共催し、12月5日に授賞式を開催した

[4] 著作権および著作権隣接権等の普及・啓発に関すること

1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法アップロード対策の専任組織として平成25年4月1日に設置した「著作権保護・促進センター（CPPC）」を中心に、動画共有サイト、ストレージサービス等に対する削除要請作業を強化した結果、年間の削除要請件数は約92万3千件となった（前年度約81万件）。
- (2) 中国国家版權局を訪問し、中国違法サイトに関する情報提供を行った。RIAJ北京代表処およびIFPI北京と連携し、人気違法アプリからのリンク先であった中国サイト（Xiami）に対して、RIAJからの削除要請に応じさせるとともに、日本からのアクセスをブロックさせた。
- (3) 平成23年8月に会員社等31社が原告となり東京地裁に提訴していた株式会社ミュージックゲート社（YouTubeからの動画ダウンロード支援サイト「TUBEFIRE」の運営会社）との訴訟について、当協会は会員社の訴訟関係実務を支援していたが、12月17日、裁判上和解に至った。
- (4) P2Pファイル共有ソフト違法利用者について、警察による検挙に協力し、幫助者についても初めて検挙するに至った。
- (5) スマートフォン関連事業者（アプリ製作者サービス事業者等）に対するアプリの削除要請を継続実施し、人気上位の音楽関連違法アプリの拡散を最小限に努めた。削除要請件数は、通年で、64件（内訳：Android 30件、iOS34件）であった。
- (6) 音楽ファイルの違法アップローダーや海賊盤の頒布者に対する告訴件数は13件であった（昨年実績23件）。
- (7) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」（CCIF）が実施するプロバイダを通じた違法P2Pユーザーに対する啓発メール送信スキームを継続し、1,569件の啓発メールを送付した。
- (8) ファイル共有ソフトの悪質ユーザー44名について、プロバイダに対する発信者情報開示請求を実施し、情報開示された14名のうち5名に対して警告を送り、9名に対して損害賠償請求交渉を行った。

2. 「私的違法ダウンロード罰則化」等の広報・啓発活動

啓発ビデオ「GOOD CLICK CREATES GOOD MUSIC」を5月に公開し、YouTubeにおける動画広告では95万回の再生回数を記録、他WEB広告をスマホやアプリ、ストレージサイト等で合計3億8000万回の広告表示による注意喚起を行った。併せて本啓発ビデオをライブイベント会場で上映するなどの取り組みを行い、計10カ所で100回以上上映された。また啓発用のノベルティとして絆創膏を2万セット作成し、ライブイベント会場の来場者や職場訪問の学生などに配布した。さらに映画盗撮防止キャンペーンCM映像のリニューアルに伴い「STOP！違法ダウンロード」のメッセージを継続して表示、11月公開の映画より順次上映されている。また啓発ポスターの掲示を全国3,000カ所の図書館に依頼した。

エルマーク（適法配信識別マーク）をフィーチャーした広告を10月1日からニコニコ動画で実施、1億回以上メッセージが表示された。

3. 著作権教育活動の実施

- (1) 中高生の会員社への職場訪問について今年度の受け入れ実績は、8,568名（前年度6,215名）となった。「私的違法ダウンロード罰則化」等の広報・啓発活動と連動し、エルマークリーフレット等を使用し、中高生に対する「罰則化」周知に努めた。
- (2) NTTドコモ主催「ケータイ安全教室」において、当協会の啓発リーフレット76万部を配布した。

4. 「レコード保護期間」の延長に向けた活動

当協会ほか音楽団体で構成する「文化芸術推進フォーラム」への提言に盛り込むとともに、文化芸術振興議員連盟のパネルディスカッションテーマに取り上げられた。

5. 「私的録音録画補償金制度」の見直しを求める活動

当協会ほか音楽団体で構成する「文化芸術推進フォーラム」への提言に盛り込むとともに、文化芸術振興議員連盟のパネルディスカッションテーマに取り上げられた。

6. レコードの業務上の利用から適正な対価が還元される制度創設に向けた活動

海外の関係団体と連携し、関係省庁等に対して制度創設の要望を行った。

[5] レコード等に関するデータの公表

1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、日本のレコード産業の年間統計資料集として「日

本のレコード産業2015」を和文、英文で発行し、当協会ホームページ上で公開した。

2. ホームページの運営

当協会の活動と様々なレコード産業に関する情報を幅広く提供し、タイムリーに更新した。

[6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. 二次使用料収入確保のための検討

- (1) 平成25年度以降のNHK二次使用料について、芸団協CPRAと合同で越年協議を実施し、7月に、25～29年度の5年契約で最終妥結に至った。
- (2) 平成26年度以降のUSEN二次使用料については、26～28年度の3年契約を締結した。また、同業他社である全国有線音楽放送協会（キャンシステム）の二次使用料についても、25・26年度の2年契約を締結した。
- (3) 平成26年度以降の衛星放送協会二次使用料について、26～28年度の3年契約で最終合意に至った。
- (4) 二次使用料・複製使用料等の徴収額の合計は74億3,400万円（前年度比14.2%増）、権利者分配額は69億2,500万円（前年度比13.1%増）となった。

[7] レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. 放送番組のネット配信に係る集中管理に関する取り組み
衛星テレビ放送番組のサイマル配信に係る集中管理事業を5月に開始した後、IPマルチキャスト放送に係る集中管理規程も年度内に整備した上で、過年度使用料を精算した。また、ケーブルテレビ自主制作番組のオンデマンド配信について、日本ケーブルテレビ連盟の要望を受けて集中管理事業化を検討し、NHK・民放テレビと同一内容の規程化について合意した。6月末に文化庁に使用料規程の届出を行い、7月30日以降、適用を開始している。

2. 教育・文化・冠婚葬祭分野のレコード利用集中管理事業の推進

NHK放送コンテスト・バトントワリング大会に係るレコード複製について、26年度の許諾件数・音源数は752件・933曲だった。また、ブライダル実証実験に関しては、JASRAC・ISUMと共に、日本ブライダル文化振興協会（BIA）等への働き掛けを強化し、関係事業者向け説明会を東京・大阪で計5回開催した。26年度末のISUM登録事業者数は495社、26年度許諾実績は6,833件・584曲だった。

3. 放送番組の海外展開に係る原盤権処理効率化の取り組み
放送番組の海外展開促進に関する取り組みについて、番組販売数が一定数に達するまでの間は、今年度4月以降も25年度暫定ルールを延長適用することが放送局およびレコード会社で構成する原盤権処理に関する実証実験協議会で決定され、3月末現在で民放6局38番組の海外番組が成立した（左記の38番組について68原盤が許諾済み）。

[8] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

徴収額は25億9,200万円（前年度比26.6%減）、権利者分配額は24億1,300万円（前年度比28.0%減）となった。

[9] 私的録音録画補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配

1. 私的録音補償金
私的録音補償金管理協会（sarah）から2,500万円（前年度比53.7%減）を受領し、2,000万円（前年度比58.3%減）を権利者に分配した。
2. 私的録画補償金
私的録画補償金管理協会（SARVH）は平成27年3月31日をもって解散した。

[10] その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等
文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動
国内の音楽関係団体ならびに国際レコード産業連盟（IFPI）およびアメリカレコード協会（RIAA）等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。

3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営
月次会議にて会員社から発売された全邦楽作品8,175点について審査を行った。

4. 業界規格（RIS）の制定と改正
日本レコード協会規格（RIS）504別冊「各種コード一覧表」（2015年3月版）を発行した。

5. “ISRC”（International Standard Recording Code）の管理機関としての活動
登録者コードの新規発行件数60件（前年度72件）、個別コードの発行曲数は16,620曲（前年度17,306曲）であり、3月末の累計数は登録者コード1,716件、個別コード164,361曲となった。

6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈
今年度（第52回）は、約8,500枚の音楽CDを福祉施設200カ所および東日本大震災被災地の臨時災害放送局7局と図書館67カ所へ寄贈した。

7. 会員社業務の集約化（シェアードサービス）
(1) 平成27年2月より、都内エフエム局を対象として、放送用音源ファイルの提供を含むオンライン・プロモーションの実証実験を平成27年6月までの予定で開始した。

運営体制

平成26年度における当協会の運営体制は次の通りである。



特報

Special Report

Music Jacket Gallery 2015 開催



Music Jacket Promotion Committee 主催の「Music Jacket Gallery 2015」が、5月15日～24日の10日間、東京・新宿高島屋にて開催された。

第9回目を迎えた今回は、60年代から現在までの日本のジャケットデザイナーに焦点をあて、クリエイティブ視点で音楽パッケージを紹介するとともに、歴史的なジャケットデザイナーやミュージックジャケット大賞受賞デザイナーを会場に招きトークショーを実施した。

さらに、普段見ることができないCDとアナログレコードの製造過程の解説や、手書きタイポグラフィと邦題ネーミングが生み出す世界観が魅力の洋楽レコード国内盤のジャケット/オビ、豪華・特殊仕様のパッケージ等、さまざまなミュージックジャケットを一挙展示、約13,000名が来場した。

01 日本のジャケットデザイン史



音楽パッケージの魅力を彩ってきた日本のジャケットデザイナーたちによる作品の数々を、その時代性と芸術性を軸にヒストリカルに紹介。



02 豪華・特殊パッケージ 2014



2014年に発売された豪華な特殊仕様のパッケージ(初回限定盤、リミテッド・エディション、立体パッケージ、BOX アーカイブ等)を展開展示。

03 ジャケットデザイナーによるトークショー



① 信藤三雄×ピーター・バラカン
「ミュージックジャケットの魅力を語る！」

CDジャケットのアートワークに革新をもたらした、現在まで約1,000枚の作品を手掛ける、アートディレクター信藤三雄氏と、40年に渡り海外の良質な音楽を独自の信念で紹介し続けるピーター・バラカン氏。それぞれ持参したお気に入りのレコードジャケットを紹介しながら、それに関わる思い出やポイント、ジャケットの魅力などを語り合った。



② 木村豊

ミュージック・ジャケット大賞 2015 受賞記念
「デザインのこと、音楽のこと、最近のこと」

本年度のミュージックジャケット大賞作品『逆輸入～港湾局～』（椎名林檎）のアートディレクターである木村豊氏、聞き手に月刊「MdN」編集長の本信光理氏を迎えて開催。大賞作品のインパクトあるジャケットがどのようにして制作されたかをはじめ、これまで手掛けた作品にまつわるエピソードなどが木村氏から語られた。



04 洋楽レコード国内盤のジャケット／オビ

原題から大きくかけ離れた独自の邦題、味わい深い手書き文字によるタイトルデザインなど、洋楽レコード日本盤だけの「オビ付き」ジャケットを展示。



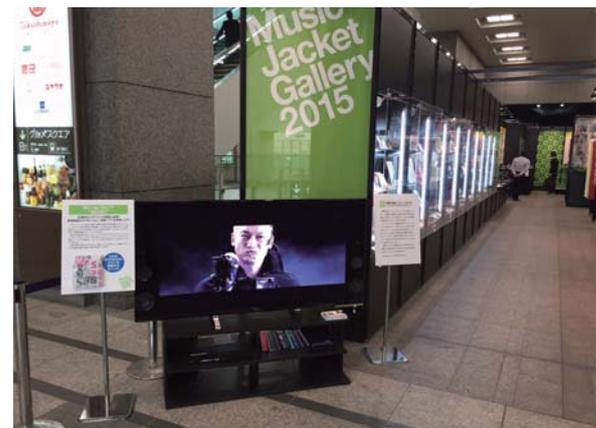
05 「ミュージック・ジャケット大賞 2015」受賞作品発表

「ミュージック・ジャケット大賞 2015」の候補 50 作品を展示し、本年の大賞をはじめ、受賞作品を発表。



06 CD&レコードのマニファクチュアリングプロセス

普段見ることのできないCDとアナログレコードの製造過程を、プレス工場潜入ムービーと途中共生成物を展示し、分かりやすく解説。



07 音楽 Blu-ray Disc 映像作品上映

2014年4月1日以降に発売された音楽 Blu-ray Disc の映像を、会場入り口のモニターにて上映。

イギリス・ブライトンでショーケースライブ「JAPAN RISING」開催



一般財団法人 音楽産業・文化振興財団（PROMIC）主催、当協会の協賛・後援により、5月14日から16日にかけてイギリス・ブライトンで行われた音楽見本市「ザ・グレート・エスケイプ」内で、ジャパン・ショーケースライブ「JAPAN RISING」を開催した。

「ザ・グレート・エスケイプ」は、一般のオーディエンスをはじめ、音楽業界やメディア関係者も注目する、ヨーロッパで躍進中の音楽見本市。10年目を迎えた今回は、世界各国から選りすぐられた約400組のアーティストが参加し、ブライトン市内の35のクラブでその腕を競った。

「JAPAN RISING」は、最終日の16日、クイーンズ・ホテルにて開催された。参加したのは **taffy**、**moumoon**、**パスピエ**、**YOSI HORIKAWA** の4組の日本アーティスト。

トップバッターの **taffy** は、これまでも複数のイギリス公演を経験しているだけあり、数多くの観客を集め、いきなりオーディエンスを熱狂に包んだ。続く **moumoon** は、ソールド・アウトのパリ公演を終えたばかり。ハートウォーミングなアコースティック・サウンドでオーディエンスの心を癒した。続いて登場した **パスピエ** はオリエンタルなキーボードのメロディを若々しいパフォーマンスに乗せて、オーディエンスを魅了した。最後に登場した **YOSI HORIKAWA** はイギリスの有力紙、The Guardian のWEB版が、「午後のクイーンズ・ホテルの地下で、YOSI HORIKAWA の華麗で肥沃な森のテクノを見た」と今年の「ザ・グレート・エスケイプ」の象徴的なシーンの一つとして取り上げるほどの盛況ぶりを見せた。

今年で2回目となる「JAPAN RISING」には、昨年の800名を上回る、約1,000名が来場。オーディエンスは4組のパフォーマンスに酔いしれ、ショーケースライブは大盛況のうちに終了した。

また、各アーティストは同日夜にそれぞれ別の会場でパフォーマンスを行い、「ザ・グレート・エスケイプ」で日本人アーティストの存在感を大きくアピールした。

【参加アーティストのコメント】

taffy

QUEENS HOTEL のライブには沢山の方に来て頂けて嬉しかったです、ありがとうございました。街全体でのフェスティバルで、レーベルと一緒にバンドと初めて会う事が出来たり、現地のインタビューを受けたりと色々楽しかったです。



パスピエ

パスピエにとっても貴重な体験ができました。初めての海外ライブだったんですが、期待以上のオーディエンスの反応があつてとても嬉しかったです。またいつかライブやリリースで戻ってこられるよう頑張ります。



moumoon

moumoonとして、初めて行ったイギリス。しかも、今回はバンドではなく moumoon のメンバー2人だけで行ったショーでした。それはとても楽しいものでした！！
きっと初めて moumoon の曲を聴く人も居たと思うのですが、笑顔になってくれた人もたくさん居たので、とても良かったです。



YOSI HORIKAWA

ホテルの地下室という普段ライブを行う会場とはかなり違った条件、お客さんのほとんどが座っていてじっくり聞いて下さっているという印象。
ところがライブを終えた瞬間には拍手喝采！忘れられない体験になりました。



特報

Special Report

インドネシア・ジャカルタで「J-Series Festival」開催 ～日本から2組のアーティストがミュージック・ライブに出演～

日本のテレビ番組の海外発信を推進する「国際ドラマフェスティバル in TOKYO 実行委員会」（井上弘委員長・一般社団法人 日本民間放送連盟 会長）は6月6日、インドネシア・ジャカルタにある多目的ホール「アッパールーム」で、「J-Series Festival」を開催した。「J-Series Festival」は、日本の放送コンテンツを海外の視聴者へ発信するため、2013年にタイでスタートした。すでに同国では2回のイベントを実施しており、インドネシアでは今回が初開催となった。

会場にはインターネットで募集された現地のファン約900名が参加し、日本のドラマ紹介の上映会や、女優の桐谷美玲さんと俳優の古川雄輝さんのトークショー、ミュージック・ライブが行われた。

当協会は本イベントで実施された、日本アーティストのライブに協力。VALSHE（株式会社ビーイング）とDoll ☆ Elements（株式会社ドリーミュージック・）の2組が出演した。どちらも初の海外公演であったが、堂々としたパフォーマンスを披露し、観客を魅了した。なお、このライブには現地のアーティストとしてJKT48も出演した。

また、本イベントの当日はインドネシアのTV局 RCTI のバラエティ番組「DAHSYAT」や、FM局 TRAX FM の番組出演の収録を行うなど、プロモーション活動も積極的に展開した。

翌7日にはジャカルタ市内のマンガ喫茶「アンバサダーカフェ」で VALSHE と Doll ☆ Elements のファン交流会と即売会が行われ、現地のファンが約100名参加、トークや撮影会などが行われた。



J-Series Festivalの様子
国際ドラマフェスティバル HP <http://j-ba.or.jp/drafes/>



大勢の現地のファンと交流する VALSHE

ACA・第4回「著作権を守ろう！ポスターコンクール」作品募集を開始

当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)は、今年11月8日に開催される啓発イベント「ほんと？ホント！フェア」の一環事業として、全国の小・中学生から著作権保護をテーマとした啓発ポスターコンクールの作品募集を開始した。

著作権をはじめとする知的財産権の侵害は、いまや国際的な問題の一つとなっており、侵害の防止には小・中学生といった若年層から、権利保護に対する認識を持つことが重要となる。本コンクールは、ポスター制作を通じて若年層に著作権に対する保護意識を高めてもらうことを目的として、2012年より実施されており、今回が第4回となる。

最優秀賞作品および優秀賞作品の入選者については、11月8日に東京近郊で開催されるACA主催の啓発イベント「ほんと？ホント！フェア」において、当日、表彰と記念品の贈呈が行われる予定。

募集要項など、詳細はACAホームページ (<http://www.aca.gr.jp/>) を参照。



昨年度最優秀賞作品ポスター
(岡山県 岡山中央中学校 2年・坪井 愛さんの作品)

「知的財産推進計画 2015」の策定に関する意見書を提出

4月30日から5月20日にかけて、知的財産戦略本部により実施された「知的財産推進計画 2015」の策定に向けた意見募集に対し、当協会の意見書を提出したので以下にその概要を紹介する。

1. 著作権制度上の課題の総合的な検討

(1) 配信音源への放送二次使用料請求権の拡充

商業用レコード（市販CD等）の放送使用に関しては、放送事業者からレコード製作者に一定の対価（放送二次使用料）が還元されているが、配信音源は放送二次使用料請求権の対象になっていない。2014年の世界音楽市場において、有料音楽配信売上がパッケージ売上と同額になる中、配信音源の放送使用に関して、レコード製作者に適正な対価還元がなされるよう、放送二次使用料請求権の拡充を図るべきである。

(2) レコード保護期間の延長

2011年9月、EUにおいて、「実演家・レコード製作者の権利保護期間」を現行の発行後50年から70年に延長する指令が公布された。また、韓国においても、2011年にレコード保護期間を発行後70年に延長する法案が可決され、2013年8月に施行されている。

一方、我が国では、未だレコード保護期間は発行後50年にとどまっている。国際的には、権利者に50年を超える法的保護を与えることが既に潮流となっており、世界61カ国（OECD加盟34カ国中29カ国）が70年以上の保護を行っている状況に照らして、コンテンツ立国を標榜する我が国においても、レコードの著作隣接権の保護期間を延長するべきである。

(3) 法定損害賠償制度の創設

インターネットを利用した著作権等の侵害においては、損害額の算定に必要な侵害回数、侵害の期間等を立証することが困難な場合が多く、権利者の救済が必ずしも適切には図られていない。

被害者の権利行使のための負担を軽減するために、被害者が権利侵害の事実を立証した場合には、具体的損害額を立証しなくても、一定の法定額を損害賠償額として請求することができる制度（法定損害賠償制度）を創設すべきである。

(4) 商業用レコードの業務上の利用からレコード製作者へ適正な対価が還元される制度の創設

公衆に聴かせるための商業用レコードの業務上の利用については、既に世界143カ国（OECD加盟34カ国中32カ国）において、レコード製作者・実演家に報酬請求権ないし許諾権が付与され適正な対価が還元されている。我が国においても、権利保護の国際的調和を図るべきである。

(5) クリエイターへの適切な対価還元制度の創設

デジタル複製技術が高度に発達した現代社会において、芸術や文化の享受を私的複製抜きに考えることはできない。その際には、当然、「ユーザー」、「複製手段を提供する者」、「権利者」の三者の利益バランスを考慮する必要がある。「ユーザー」は自由かつ無許諾で私的複製を行うことができ、また、「複製手段を提供する者」はユーザーが私的複製を行うことを前提に、複製機能を有する多品種大量の機器を製造・販売、あるいは同種の多様なサービスを提供することにより大きな利益を得ている。

一方、「権利者」は複製権の制限により私的複製から正当な対価の還元を受けていないばかりか、現行の私的録音録画補償金制度が事実上機能していない現状において、三者の関係はあまりにもアンバランスであると言わざるを得ない。

政府はこのような状況を打開するために、ユーザーの利便性向上に配慮しつつ、新たなクリエイターへの適切な対価還元制度の創設を行うべきである。

2. インターネット上のコンテンツ侵害対策

(1) ウェブサイトへのアクセス遮断措置（サイトブロッキング）の導入

膨大な数にのぼるインターネット上の著作権等侵害は、権利者が発見し削除要請等の対応を実施しても、蔵置場所を変えて日々絶え間なく発生し続けている。そのため、もはや権利者による事後的な対応だけでは侵害量の顕著な減少は期待できない状況となっている。

政府は既に実施している諸外国における違法利用の減少効果等を適切に見極めながら、違法の蓋然性が極めて高いウェブサイトへのアクセス遮断措置（いわゆるサイトブロッキング）の導入を積極的に検討すべきである。

● 意見募集の結果について（知的財産戦略本部ホームページ）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/boshu_kekka.html

当協会の意見は「法人・団体からの意見」のp14～p15に掲載

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

流れの源を訪ねよ

子安 次郎 (こやす・じろう) 氏

ユニバーサルミュージック合同会社 執行役員 Prime Music マネージング・ディレクター 兼

USM ジャパン 邦楽カタログ本部 統括本部長

※ illustrated by トータス松本氏



❁ ラジオ番組を機に、大瀧詠一さんの書生となる

1975年6月9日。僕の人生では、運命の日です。大瀧詠一さんがパーソナリティーのラジオ番組『GO! GO! NIAGARA』がスタートしたのです。当時、僕は大学1年生。小中高の一貫校で自由と個性を大切に教育を受けてきたため、一般社会に近い大学生活になじめずにいました。そんな中『GO! GO! NIAGARA』と出会った僕は、やがて番組のヘビーリスナーになっていました。

ある日、番組録音テープの貸出サービスを利用しに大瀧さんの事務所へ行ったことで、僕の人生は大きく変わりました。事務所の方から「スタジオに手伝いに来ない？」とオファーを受け、福生スタジオで書生2号として働くことになったのです。書生の仕事は買い出しや車の運転など雑用主体でしたが、折に触れ大瀧さんの薫陶を受け、かけがえのない経験ができました。

大瀧さんの話はとにかく面白く、非常に勉強になりましたね。音楽に加え、野球、相撲、落語、喜劇…。あらゆることに通じ、さらに物事の深いところまで見抜く、鋭い分析力に驚嘆しました。多くのことを教わりましたが、「全ての物事には流れがある」ということを、よく言われました。この頃の経験を通して、後の仕事の基盤となる考え方を身につけることができました。大瀧さんとの出会いがなければ今の僕はあり得ません。

❁ ヒットは世の中が作るもの

その後、僕は縁あって東芝EMIに入社し、ディレクターとしてBOØWYを担当し成果も出せました。大瀧さんから呼び出されたのはその頃でした。赤坂プリンスホテルの一室にこもって三時間、延々説教を受けました。ヒットを出しても自分を見失うなよ、という親心からだったと思います。そこで「新しいことをやるときは、ちゃんと墓参りをせよ」と言われたのが強く心に響きました。改めて、物事には流れがある、その流れの源を訪ねて、自分がやるべきことをきちんと確認せよと教えていただいた。より具体的にディレクター

の仕事に置き換えて言うならば、どんなアーティストも過去の音楽や文化の影響を受けている。だから、アーティストの原風景、原体験を大事にしなきゃいけない、ということです。

ウルフルズと出会ったのはその直後でした。レーベルごと契約が終わりそうだった彼らを、関係者の熱意に押され、引き受けようと決意したのです。彼らの原点は「関西」「ギター」「歌詞」「R&B」という四つの要素。ならば、とプロデューサーは、関西出身のギタリストで歌詞も書ける伊藤銀次さんをお願いしました。さらに、伊藤さんと深いつながりのある大瀧さんの曲をやるのがいいと思い「びんぼう」をカバーすることにしました。大瀧さんも賛同し、時代に合うようにと新しい歌詞まで加えてくださいました。続いて大瀧さんの「福生ストラット」をウルフルズ・バージョンにした「大阪ストラット」を出そうとしたのですが、阪神・淡路大震災が起きて、能天気な曲はダメだとお蔵入りに。復興への気運が出てきた数カ月後、今度は「大阪ストラット」の元気が求められるという話になり、完成度を高めた上でリリースし、ブレイクすることができました。流れは本当に大切ですね。

また、本質をとらえるためには、常識と異なることをやるのも重要です。それが功を奏したのが氣志團のプロモーションでした。彼らはとにかく、このインパクトあるビジュアルを見せなければダメだと思いました。そうするとシングルの際はアルバム、その次はツアーをやって、映像を撮って…という従来の方法は違うと感じました。全て逆にしようと発想し、VHSのビデオ・リリースでデビュー。3本のビデオを出し、フリーライブ、アルバムと積み上げた後にシングル「One Night Carnival」を出して、大ブレイクを果たしました。氣志團の流れの原点、本質を生かしたプロモーションができたと思います。

とは言え、ヒットは私たちが作れるものではありません。大瀧さんは常々、「我々は作品は作れるが、ヒットは作れない。世の中がヒットを作る」と仰っていました。大瀧さんからの金言をご紹介します。

「歌は世につれ、世は歌につれるほど甘くない」

「音楽に良いも悪いもなかりけり、聴く人々の耳に合わねば」(談)

担当アーティスト

川島なお美、薬師丸ひろ子、BOØWY、ウルフルズ、氣志團、ハナレグミ、フジファブリックなど多数

Monthly Production Report

2015年5月度レコード生産実績

5月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比82%の1,707万枚・巻、金額で同82%の190億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比90%の1,417万枚・巻、金額で同98%の159億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比56%の291万枚・巻、金額で同44%の30億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	5月実績						2015年1月～2015年5月累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比		
シ	8cmCD	邦	3	0	216%	2	0	208%	16	0	204%	9	0	175%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	6667%	0	0	4533%
		計	3	0	224%	2	0	216%	16	0	207%	10	0	178%
ン	12cmCD	邦	6,134	43	108%	4,315	27	112%	24,066	34	107%	17,494	22	106%
		洋	3	0	3%	2	0	20%	32	0	12%	12	0	15%
		計	6,137	43	107%	4,317	27	112%	24,099	34	106%	17,507	22	105%
ル	小計	邦	6,137	43	108%	4,317	27	112%	24,083	34	107%	17,504	22	106%
		洋	3	0	4%	2	0	21%	32	0	12%	13	0	15%
		計	6,140	43	107%	4,319	27	112%	24,115	34	106%	17,516	22	105%
12cmCD アルバム	邦	6,087	43	102%	9,753	61	120%	36,505	51	108%	51,910	66	111%	
	洋	1,809	13	46%	1,700	11	41%	9,552	13	69%	8,775	11	68%	
	計	7,896	56	80%	11,453	72	93%	46,057	65	97%	60,684	77	102%	
CD 合計	邦	12,224	86	105%	14,070	88	117%	60,588	85	108%	69,414	88	109%	
	洋	1,812	13	45%	1,702	11	41%	9,584	14	68%	8,787	11	68%	
	計	14,036	99	90%	15,773	99	98%	70,172	99	100%	78,201	99	102%	
アナログ ディスク	邦	12	0	39%	20	0	41%	130	0	204%	224	0	182%	
	洋	16	0	132%	26	0	145%	92	0	200%	150	0	250%	
	計	28	0	66%	45	0	69%	222	0	202%	374	0	204%	
カセット テープ	邦	66	0	82%	56	0	80%	388	1	78%	319	0	79%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	66	0	82%	56	0	80%	388	1	78%	319	0	79%	
その他	邦	16	0	68%	30	0	106%	59	0	53%	94	0	65%	
	洋	20	0	177%	30	0	125%	87	0	96%	188	0	94%	
	計	36	0	103%	61	0	115%	147	0	73%	282	0	82%	
合計	邦	12,317	87	105%	14,176	89	117%	61,165	86	107%	70,051	88	109%	
	洋	1,848	13	46%	1,758	11	42%	9,764	14	68%	9,125	12	69%	
	計	14,166	100	90%	15,935	100	98%	70,929	100	99%	79,176	100	102%	

● 音楽ビデオ

	5月実績						2015年1月～2015年5月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	
DVD	邦	2,485	86	57%	2,265	74	44%	20,396	81	104%	21,518	67	95%
	洋	111	4	62%	104	3	53%	496	2	67%	619	2	70%
	計	2,596	89	57%	2,369	78	44%	20,892	83	103%	22,137	69	94%
Blu-ray Disc	邦	281	10	46%	643	21	43%	4,230	17	148%	9,679	30	119%
	洋	29	1	195%	31	1	85%	82	0	109%	186	1	91%
	計	310	11	50%	674	22	44%	4,312	17	147%	9,865	31	118%
テープ・その他	0	0	0%	0	0	0%	1	0	72%	2	0	66%	
合計	邦	2,766	95	56%	2,908	96	44%	24,627	98	110%	31,198	97	101%
	洋	140	5	72%	135	4	58%	578	2	71%	806	3	74%
	計	2,906	100	56%	3,043	100	44%	25,205	100	108%	32,004	100	100%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

	5月実績						2015年1月～2015年5月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	
オーディオ	14,166	83	90%	15,935	84	98%	70,929	74	99%	79,176	71	102%	
音楽ビデオ	2,906	17	56%	3,043	16	44%	25,205	26	108%	32,004	29	100%	
合計	邦	15,083	88	90%	17,085	90	91%	85,792	89	108%	101,249	91	107%
	洋	1,988	12	47%	1,893	10	43%	10,342	11	69%	9,931	9	70%
	計	17,072	100	82%	18,977	100	82%	96,133	100	102%	111,180	100	102%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	5月実績						2015年1月～2015年5月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
DVD	4,183	82	66%	5,159	68	59%	32,382	77	95%	44,291	63	86%
テープ・その他	921	18	69%	2,452	32	61%	9,640	23	108%	25,877	37	110%
合計	5,104	100	66%	7,610	100	60%	42,022	100	98%	70,168	100	94%

● オーディオ/ビデオ合計

	5月実績						2015年1月～2015年5月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比
オーディオ	14,166	74	90%	15,935	68	98%	70,929	63	99%	79,176	53	102%
ビデオ	5,104	26	66%	7,610	32	60%	42,022	37	98%	70,168	47	94%
合計	19,270	100	82%	23,545	100	81%	112,951	100	99%	149,344	100	98%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計

音楽ソフト
邦楽

アルバム	ゴールド	タイトル	アーティスト	発売日	レーベル
		レインボーロード	絢香	2015.04.15	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
		WHITE	Superfly	2015.05.27	ワーナーミュージック・ジャパン
		evergreen	秦基博	2014.10.29	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
		5 Years 5 Wolves 5 Souls	MAN WITH A MISSION	2015.01.01	日本クラウン
		μ's Best Album Best Live! Collection II	μ's	2015.05.27	ランティス
シングル	2ミリオン	僕たちは戦わない	AKB48	2015.05.20	キングレコード
	ダブル・プラチナ	青空の下、キミのとなり	嵐	2015.05.13	ジェイ・ストーム
	ゴールド	Evergreen	GENERATIONS from EXILE TRIBE	2015.05.13	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
		Timeless	V6	2015.05.08	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ

洋楽

アルバム	プラチナ	グッド・ガール・ゴーン・バッド	リアーナ	2007.05.30	ユニバーサル ミュージック
	ゴールド	ワイルド・スピード スカイミッション	オリジナル・サウンドトラック	2015.04.08	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は発売日

有料音楽配信
「シングルトラック」
邦楽

プラチナ	ラブ・ストーリーは突然に	小田 和正	2007.12.05	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
	あなたに恋をしてみました	chay	2015.02.02	ワーナーミュージック・ジャパン
	We Don't Stop	西野 カナ	2014.05.21	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	涙色	西野 カナ	2013.07.31	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
ゴールド	ラピスラズリ	藍井 エイル	2015.04.22	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)
	海色	AKINO from bless4	2015.02.18	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	E.G. Anthem -WE ARE VENUS-	E-girls	2014.06.13	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	心の花を咲かせよう	いきものがかり	2008.12.24	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPIC レコードジャパン)
	希望的リフレイン	AKB48	2014.11.26	キングレコード
	もんだいガール	きゃりーぱみゅぱみゅ	2015.03.04	ワーナーミュージック・ジャパン
	もっと愛したかった	KG	2012.06.27	ユニバーサル ミュージック
	猟奇的なキスを私にして	ゲスの極み乙女。	2014.07.25	ワーナーミュージック・ジャパン
	私以外私じゃないの	ゲスの極み乙女。	2015.04.22	ワーナーミュージック・ジャパン
	Bushido-main-	ZEEBRA	2008.03.05	ポニーキャニオン
	くじら 12号	JUDY AND MARY	2000.12.06	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPIC レコードジャパン)
	Beautiful	Superfly	2015.05.08	ワーナーミュージック・ジャパン
	世界は恋に落ちている	CHiCO with HoneyWorks	2014.08.06	ミュージックレイン
	吹雪	西沢 幸奏	2015.02.18	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	わたがし	back number	2012.07.18	ユニバーサル ミュージック
	何度でも花が咲くように私を生きよう	福山 雅治	2015.03.21	ユニバーサル ミュージック
	オー！リバル	ボルノグラフィティ	2015.04.15	ソニー・ミュージックレーベルズ (SME レコーズ)

洋楽

プラチナ	シェイク・イット・オフ	テイラー・スウィフト	2014.09.24	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	シー・ユー・アゲイン (feat. チャーリー・プース)	ウィズ・カリファ	2015.04.08	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

協会からのお知らせ

一般財団法人 音楽産業・文化振興財団 (PROMIC) では、日本アーティストを幅広く海外に紹介するための情報発信拠点として、ポータル・サイト「PROMIC.TV」を公開しています。同サイト上では、YouTubeのチャンネルを通じ、英語圏向けの音楽情報番組「J-POP NEWS」を制作し、発信しています。



また、海外でライブやプロモーション活動を行う日本アーティストの情報をTwitter、Facebook等SNSで随時紹介し、現地における活動のバックアップを行っています。ぜひ、ご注目ください。

PROMIC.TV (<http://promic.tv/>)



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.668 2015年7月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 齊藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2015年7月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

「AWA」「LINE MUSIC」のサービス開始、「Apple Music」の発表など、ストリーミングサービスの話題が盛り上がっています。以前からお気に入りの音楽を聴くだけに留まらず、新しい音楽に出会うきっかけや、音楽と生活の接点もより増えそうです。

多種多様な月額定額制サービスがある中で、面白いと思ったのはファッション分野。顧客のサイズや好みに合わせて、プロのスタイリストが選んだ服や小物が“借り放題”になるという形態が多いようです。セレモニー用にレンタルを考えることはあっても、日常の普段着までは想像しなかったなあ…、と画期的なサービスに興味津々です。(M)